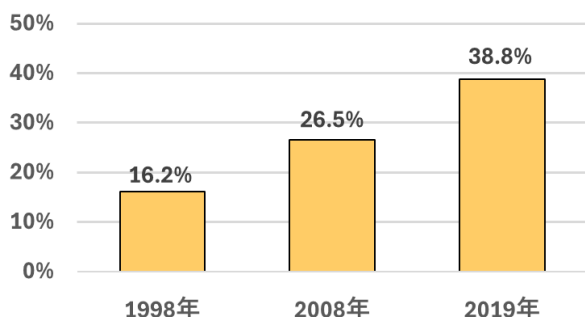


○ 気候変動と花粉症

愛知県では、毎年2～4月にスギなどの花粉が飛散し、くしゃみ、鼻汁、目のかゆみなどの症状を伴う花粉症に、多くの人が悩まされています。

日本における花粉症の原因として最も多いスギ花粉は、夏の平均気温が高いほど翌年春の飛散量が増加し、冬の平均気温が高いほど飛散開始日が早まる傾向があります。したがって、地球温暖化に伴う気候変動は、花粉の飛散開始の早まりによる飛散期間の長期化や、飛散量の増加を引き起こす可能性があります。

実際に、環境省の花粉症環境保健マニュアル2022によると、日本におけるスギ花粉症の有病率は、1998年調査の16.2%から、2008年には26.5%、2019年には38.8%と、年々増加傾向にあります。



日本におけるスギ花粉症の有病率の推移
(「花粉症環境保健マニュアル2022*」(環境省)
を基に愛知県が作成)

*<https://www.env.go.jp/content/900406385.pdf>

○ 春のスギ花粉飛散予測と花粉症対策

スギ花粉症は適切な対策を講じることで症状を軽減することができます。花粉の飛散時期や特徴を

知り、いかに花粉を避けるかが重要となります。

(一財)日本気象協会によると、本年春の愛知県へのスギ花粉飛散開始は例年並みで、2月上旬からと予測されています。また、前年秋のスギ雄花着花量が多くなると、春に飛散するスギ花粉も多くなります。環境省の令和7年度スギ雄花芽調査によると、11～12月の愛知県のスギ雄花着花量は、過去10年平均値の213%でした。このことから、春のスギ花粉飛散量は、例年より多いことが見込まれます。

個人で取り組める身近な対策をご紹介しますので、是非お試しください。

- ・花粉情報をチェックし、花粉の飛散量が多いと予測される日や飛散量が多い時間帯(昼前後と夕方)の外出を避けましょう。晴れて気温が高い日や空気が乾燥して風が強い日、雨上がりの翌日は注意が必要です。
- ・外出する場合は、花粉から目や鼻を守るために花粉対策用のメガネやマスクなどを着用するとともに、花粉が付きにくい服装を心がけましょう。
- ・帰宅後は、手洗いやうがいを行いましょう。洗顔、洗髪を行うのもおすすめです。
- ・洗濯物や布団の外干しを控えましょう。

スギ花粉は、飛散開始と認められる前からわずかな量が飛び始めますので、対策は早めに始めるとよいでしょう。



愛知県気候変動適応センター
(環境調査センター 企画情報部)
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

